

主要事業場



沿革

- 1940年 ● 大同製鋼技能者養成所 (旧大同製鋼専門技術者養成所) 開所
- 1943年 ● 大同製鋼専門技術者養成所 (旧大同特殊鋼技術者養成所) に改称
- 1958年 ● 事業内職業訓練実施優良事業所として 労働大臣から表彰 (技能者養成所)
- 1962年 ● 高校卒業者技能系列従業員 第1回定期採用実施
- 1970年 ● 職業訓練法改正に伴い高等学校卒業者を 対象の教育を実施 (専修生第1期生)
● 大同製鋼職業訓練校と改称
- 1976年 ● 大同特殊鋼高等職業訓練校と改称
- 1979年 ● 登山訓練…中央アルプス木曾駒
- 1983年 ● 事業内職業訓練実施優良事業所として 労働大臣から表彰 (高等職業訓練校)
- 1984年 ● 生産過程 (7ヶ月)、保全課程 (1年間) を 電気機器科、機械組立科に改称
● 全員1年間教育を開始
- 1986年 ● 登山訓練…南アルプス甲斐駒
- 1988年 ● 設備技術に対応した電子、情報関連の 教育を拡大
● 大同特殊鋼技術学園に改称
- 1991年 ● 「機械加工科」「電気機器科」「熱処理科」の 3課程に変更
- 1994年 ● 登山訓練…富士山 (田子の浦～山頂)
- 1998年 ● ボランティア活動開始…ひかりのさと (東浦町)
- 2002年 ● 創立50周年を迎える
● 「熱処理科」の1課程に変更

大同特殊鋼 エキスパート GUIDE BOOK

最高の自分になる！

特殊鋼製造の

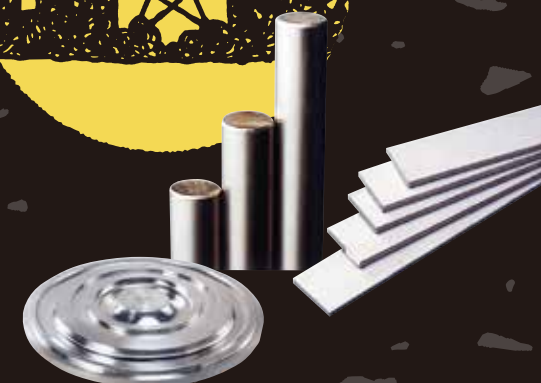
エキスパートを育てる環境がここにあり

頼もしい環境がここにあり

大同特殊鋼技術学園では、社会人・企業人としての心構えや現場で必要な知識・技術の基礎を身につけることができます。科目は座学以外に、実習・演習を含むバラエティに富んだ内容。国家資格の取得もできます。また、学園生は親元を離れて全員が入寮。集団生活によって、自立した大人への第一歩を踏み出せます。

大同特殊鋼がつくる製品は、クルマをはじめ、航空機、鉄道、船舶、精密機器などをつくる際に用いられます。つまり、現代社会を成り立たせるために大同の特殊鋼は不可欠なのです。

技術学園で特殊鋼製造のエキスパートになるための素質を磨き、将来大同特殊鋼と社会にとって重要な人材になる。この選択は、あなたの人生をきっと輝かせるでしょう。





実践と座学で成長できる

産業の教育



学園生活は約11カ月。前期と後期で成長のねらいを明確にし、仕事で必要となる知識と技術の基礎力を磨きます。講義は座学だけでなく、実践形式の実習・演習もありますので、手を動かして物事に取り組む楽しさも感じられるでしょう。また、多くのイベントを通して、仲間との絆を育みながら、心の成長も後押しします。

成長のねらい	★変わる 集団から一体感あるチームへ					★成長 切磋琢磨 自分はチームのために何ができるか						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
ヒューマンスキル	入社式	強歩訓練(山道18km)	伊吹山登山	県体育大会	体験発表選抜	10km走	海外研修	促進大会	東海市ハーフマラソン10km	年間操行評価	修了式	
	入園式	コミュニケーション研修	登山振り返り	学園オリンピック	ボランティア活動	秋の祭典		県体験発表	県駅伝大会	グリーンカード運動、月間 MVP		
	導入教育	人材育成シート面談				野外訓練			人材育成シート面談			
年間活動：日常生活態度評価、朝礼、モーニングスピーチ、職場の教養、館内清掃、ランニング、筋力トレーニング、挨拶・身だしなみ運動、緑化活動、昼食会												
資格取得	クレーン学科		危険物乙4類			電工1種学科		電工1種実技		技能照査		
	全員合格											
	クレーン実技											
専門教育 テクニカルスキル	玉掛け技能講習		アーク溶接特別教育		フォークリフト技能講習		砥石取替特別教育		粉じん特別教育		フルハーネス特別教育	
	ガス溶接技能講習		酸欠特別教育		低圧電気特別教育							
	モノづくりの基礎											
職場教育	生産管理		生産技術		新人オペレーター教育		定期試験Ⅱ		定期試験Ⅲ			
	品質管理		金属材料		機械工学							
	パソコン		製鋼		機械要素							
安全教育	避難訓練		危険箇所の改善		職場係長講話						ソフト改革室長講話	
	安全推進部長講話		防災教育									
	年間活動：安全衛生シート、災害速報、KY ミーティング 安全授業：KYT、安全3原則、危険体感塾、危険予知塾、リスクアセスメント											

春



入社式



伊吹山登山



海外研修



促進大会



技能照査



導入教育



学園オリンピック



海外研修

秋



駅伝大会



冬

修了式

やる気を育み、基礎力をじっくり磨く

モノづくりのエキスパートになるための教育

多くの先輩社員が、技術学園を卒業して自信を持ち、大同特殊鋼のモノづくりを最前線で支える貴重な人材に成長しています。だからどうか皆さんも安心して下さい。指導員は、皆さんのやる気を育み、段階的なレベルアップを叶えていきます。豊富な科目からじっくり知識と技術の基礎を身につけ、資格を取り、自身の成長を楽しみましょう。学園を卒業する頃には、モノづくりのエキスパートとなる素質を持った優秀な若手人材に生まれ変わっているはずです。

技術・知識・人間力をバランスよく学べる独自の科目群

学園生は班ごとに分かれて学園生活を送ります。1日のスタートは朝礼から。その際、班ごとに交代で号令をかけて行動しますが、こうした声かけが現場に出た時の安全確認に役立つのです。また、交代制でモーニングスピーチも披露。人前で話すことで、意見をうまく伝える力が養われます。

クレーンなどの資格の取得については、技能と合わせて危険予知も習得。高度な安全意識と確かな操作術を身につけた運転士へと育てます。

スポーツや文化活動も特筆です。サッカーや野球などは、ほかの企業の技術学園との対抗戦に出場。絵画、写真、書道は、作品を発表できる場がきちんと設けられます。

分類	項目・科目	科内容目	
ヒューマンスキル	導入教育	社会人・学園生の心得など	
	野外訓練	登山、ボランティアなど	
	行事	体験発表会、県事業内行事など	
	文化・体育(選択)	サッカー、野球、バレー、絵画、写真など	
テクニカルスキル	資格取得	クレーン運転士、玉掛け、砥石など	
	一般教育	生産管理、原価管理、安全講話など	
	専門教育	生産技術	金属材料、製鋼、圧延、鍛造など
		新人オペレーター教育	機械工学、機械要素、機械総合実習
		技能検査	普通職業訓練認定試験(金属材料系熱処理科)
		配属先実習・見学	自職場実習等
定期テスト	1、2、3定期テスト		

ヒューマンスキル

学園生は、皆で寮生活を送り、班のメンバーと講義や課外イベントをともにします。こうした集団生活を続けることで、コミュニケーションが活性化され、協調することの大切さも理解。さらに、規律を守る習慣も身につきます。



体力づくり

テクニカルスキル

資格・一般教育

クレーンや危険物取扱者、電気工事士等の国家資格のほか、大同特殊鋼が定める社内資格も含め、最大で14の資格が取得可能。取得に向けた講義は、要点を押さえ、過去の問題集を使った試験対策もバッチリです。



天井クレーン運転免許実技訓練

専門教育

認定職業訓練校「金属材料系熱処理科」として、自分達(会社)が造る『鋼』とは。会社の価値観を重視しつつ、特殊鋼の性質やその製造工程に関する基礎知識はもちろん、シーケンス(操作盤)やパソコンを使った実習など学べる科目が満載です。



溶解実習

工場、現場。多彩な工程で特殊鋼づくりに挑む

学園生は、卒業したら大同特殊鋼の各工場に配属されます。そこでは、大型機械の操作を任せられる機械オペレーター、機械の修理やメンテナンスを行う設備保全担当として活躍。どちらも特殊鋼の製造に欠かせない重要な職種です。責任ある仕事に取り組むことで、充実感もたっぷり得られます。

機械オペレーター

特殊鋼の原料は、鉄スクラップ。それが工場に運ばれたら、製鋼(溶かす・精錬する・固める)、圧延・鍛造、検査といった工程を経て出荷されます。技術学園出身の機械オペレーターは、製鋼と圧延・鍛造の工程で機械操作や各種補助作業を担当。機械は、コントロール室にあるシステムで管理されており、モニターでさまざまな状況を確認しながらボタンで操作します。また、補助作業は、製鋼と圧延・鍛造工程で発生する測温や集材、設備の自主的な保全などのこと。次の工程にスムーズに進めるため、縁の下の力持ちとして動きます。



製鋼

鉄スクラップを炉の中で1600度の高温で溶かします。次に、溶けた鉄スクラップに含まれる不純物を除去。その後、マンガンやニッケルなどの成分元素を加えて鋼にします。そして、まだ溶けた状態の鋼を冷却しながら固め、大きな鋼片をつくれれば製鋼は完了。

圧延

製鋼工程でつくられた鋼片に圧力をかけて延ばしていくのが、圧延工程です。圧延の際には大きなローラーが登場。ローラーとローラーの間に加熱して圧延しやすくした鋼片を通し、お客さまが求めている大きさや形状に変えていきます。

鍛造

刀をつくる鍛冶職人は、鋼をハンマーで叩いて刀をつくります。これと同じ原理で、鍛造工程では、大きなプレス機という機械を使って、熱した鋼を強い力でプレス。鋼を鍛えるかのごとくプレスすることで、より強い製品がつけられるのです。

設備保全



製鋼、圧延・鍛造工程で使われる機械は、どれも特殊なものばかり。それらは、クルマやバイクと同じで、定期的な点検やメンテナンスを施さなければなりません。そこで設備保全担当の出番です。彼らには、点検やメンテナンスをする機械が割り当てられ、一連の作業に取り組み、故障を未然に防いでいます。こうした働きがあるからこそ、無事に特殊鋼の製造が進められるのです。また、故障が起きた場合には、即座に現場に急行し、復旧作業を行います。

教育体系



丰厚的生涯教育

配属後も、働きやすい環境を整備

技術学園は、大同特殊鋼でのモノづくりのエキスパートになれる素質を引き出します。その素質は、現場経験を重ねることで、次第に伸びるでしょう。そして、大同特殊鋼では、素質をよりよく伸ばし、いち早くエキスパートの領域に到達してもらうために、生涯教育体制を整えました。卒園しても教育には徹底して力を注いでいるのです。

エキスパートコース教育体系						共通項目		
		職責・役割	DMK	専門技術	管理技法	安全衛生	自己啓発	生涯設計
係長	E1	新任係長研修 (リスクマネジメント) (人材リスクマネジメント)						50代キャリア研修・40代キャリア研修・キャリアアプランセミナー
工長	E2	工長パワーアップ研修 新任工長研修			洋上大学			通信教育講座・eラーニング・公開講座・英語教育
班長	E3	大同G 新任班長研修 (安衛法 60条、安衛則法 40条に 基づき必須研修)						
班員	E4	中堅社員研修 配属2年目研修 新入社員教育 (技術学園)	モノづくり塾 (TPM教育 星崎工場又は出前教室)	国家技能検定 (事前教育・受験) 技術・資格取得講習 機械保全マン(初級・中級・上級) 一般保全教育(保全管理・機械基礎・電気基礎) 電気保全マン(初級・中級・上級) 管理手法教育(6大ロス撲滅講座) 大同大学留学 職場指導員教育	JK(Q7/N7)手法講座			法定特別教育

■ グループ会社受入れ研修 □ 必須研修

謙虚かつ柔軟性に富んだ若い世代は、さまざまな知識と技術をたくさん吸収できます。だからこそ、卒園から約10年間は、豊富な教育メニューを設け、それぞれの年次に応じた研修を実施しています。並行して技術的な研修や大同特殊鋼が大切にしているJK(自主管理)活動に関する研修も受けることができます。また、意欲のある人は、大同大学への留学チャンスも。もちろん、年齢と経験を重ね、班長、工長、係長などにステップアップしても、それぞれに必要な研修を用意。50代になると、その後の人生設計を学ぶ研修も加わるなど、まさに生涯教育が完成されています。

安心制度



丰厚的制度を取り組みが

「働きやすい」「暮らしやすい」を実現

選んだ会社で長く働くには、まず担当している仕事を楽しみと思えることが大切ですが、「働きやすい」と感じさせる取り組みや生活に不安を抱かせない制度が整っていると、より安心です。その点についても、大同特殊鋼は自信を持っています。仕事とプライベートの両方が満喫できれば、人生はより豊かで華やかになるでしょう。

大同特殊鋼健康保険組合への加入

自社で健康保険組合を設立しました。健康保険組合は、病気やケガ、出産、死亡などの際、医療費を負担したり、給付金を支給。被保険者とその家族は、保養所も利用できます。

メンタルヘルスへの取り組み

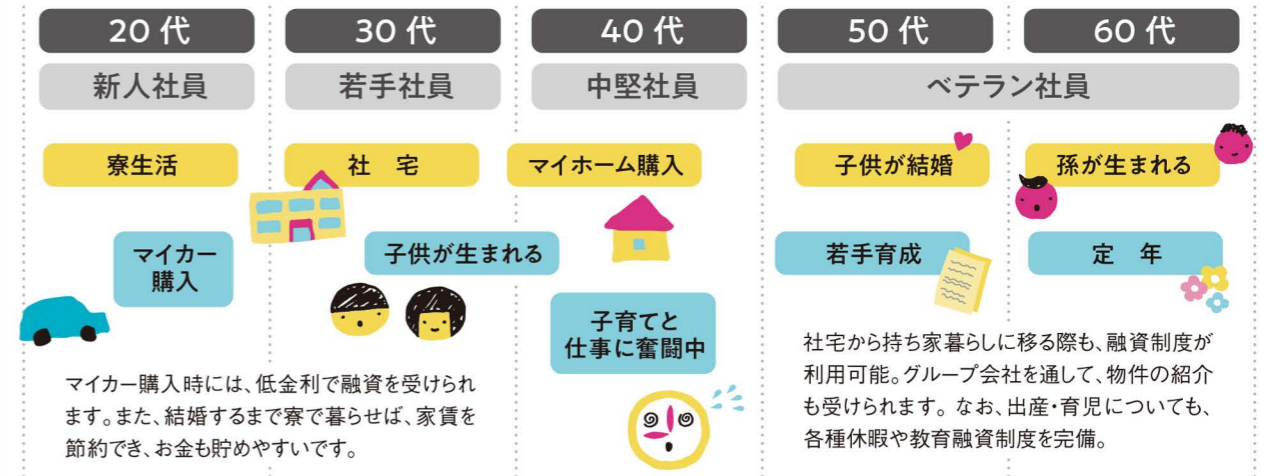
心の健康を保っていただくため、その知識を身につける階層別教育を実施し、相談窓口も設置。さらに、外部の専門機関との連携や退職者の復職支援も行っています。

生命保険等の各種団体保険の斡旋

ライフステージに変化が訪れると、各種保険の加入を検討することになります。大同特殊鋼では、工場の敷地内で生命保険や火災保険などの相談が受けられるので、便利です。

将来のライフイベント 大同特殊鋼なら、夢もふくらむ

大同特殊鋼なら、以下のようなライフプランも描けます。私たちは皆さんの夢を夢で終わらせません。



福利厚生が整った環境から、舞が奏揮できる

配属後の年間休日は、4勤2休のサイクルで130~132日あり、有給休暇は年20日。夏季・年末年始の休日も長いので、他府県から就職された方もゆっくり帰省できます。なお、学園生として入寮した寮については、現場配属後も住み続けることができ、家族が増えたら社宅への引越しも可能です。また、工場内には、売店、大浴場、理髪店などもそろい、体育館やトレーニングルームも完備。さらに、長野県に木曾駒高原ホテルを、知多工場の最寄駅である「太田川駅」近くには「さつき館」を保有。それぞれ社員の保養施設として活用できます。



事業場内売店



星崎工場トレーニングルーム



昼休み：体育館内



木曾駒高原ホテル



社宅：スターハイツみなみ





諸頭

慧

2019年4月入社
愛知県出身

数々の出来事から得られる達成感

入社後、約1年間基礎的な知識と技能を身につけた上で実際の仕事に就ける点は、やはり魅力的。さらに、登山やマラソンなど、行事が豊富な点も興味を持つきっかけになりました。これまでに振り返り、印象深かった出来事は、クレーンの資格試験です。これは国家資格ということもあり、取得は容易ではありません。入社後からコツコツ皆で勉強し、秋になって合格が発表された時は、積み上げた努力がよい結果につながって最高の気分でした。このように、学園生活では数々の出来事から多くの達成感を得られるので、やる気がチャージされます。



嶋田
希隆

2017年4月入社
熊本県出身
技術開発研究所
溶解凝固研究室

現場で生きるスキルを高めることができた

約1年の学園生活を体験してみると、明らかに自分が変わったという実感が得られます。実は私は、人前で話すのが得意ではなかったのですが、同じ目標を持つ仲間がそばにいて、自然に仲が深まり、積極的にコミュニケーションを交わせるようになりました。今仕事をしていると、現場ではコミュニケーションの大切さを痛感します。そのスキルが高められたのは大きな収穫です。



凝固試験

研究スタッフから依頼を受け、新しい特殊鋼の試作品製造を担当。今後大同特殊鋼を支えるであろう新製品の下地がここでつくられます。



女性初の実績をいろいろつくりたい

大同特殊鋼に入社した高校の先輩が、技術学園の説明をしに来校され、リアルな声を聞かせてもらったことで、学ぶ決心ができました。ちなみに、私の地元は大分県。知人のいない愛知県で暮らすことになりましたが、女性の同期が3人いたので心強かったです。また、女性に限った話ではないと思いますが、皆地元を離れるという同じ条件のもとで学ぶので、すぐ打ち解けることができます。今後働く部門では、女性社員の配置として私が初の人材とのことなので、女性初の実績をいろいろ残し、後輩が入った時に安心してもらえるようにしたいです。



河村
莉奈

2019年4月入社
大分県出身



成功体験が自分に自信を持たせてくれる

学園生活で特に思い出に残っている出来事は、冬のマラソン大会です。私は体力に自信がなくて、目標タイムを切って完走できるかとても不安でしたが、本番では結果を出すことができました。この体験から「自分もやればできる」を実感。その後の自信につながっています。現場で働き始めてからも、チャレンジをモットーに努力し続け、二級ボイラー技士の国家資格を取りました。



設備保全

設備に異常がないかを点検。その作業で使う道具は、学園時代の実習で手にしたものも多く、学びを生かしながら仕事を楽しんでいます。

足達
朱音

2017年4月入社
大分県出身
知多工場 環境係



技術学園は、自分の未来が見つかる場所

技術学園に入ってしばらくしてから、鍛造製品をつくらしている現場を見学させてもらったことがあります。鍛造とは、大きな機械を使って、高温の金属をとてつもない力で叩き、形状を変えていく金属の加工方法のこと。加工の様子を見た私は、あまりの迫力に圧倒されつつも、ダイナミックなモノづくりが楽しめそうな予感を抱き、「自分もこの仕事に関わってみたい」と卒園してからの目標を見つけることができたのです。私は、技術学園は現場で必要な知識と技能の基礎力を磨くだけでなく、自分の未来も見つけられる場所だと思っています。



柿本
竣太

2019年4月入社
北海道出身

現場に入ってから、先輩が手厚く指導

先生方は、要点を押さえながら丁寧に講義してくださるので、自分の理解が追いつかないと感じたことはありません。やはり多くの時間を費やす講義が楽しかったから、学園生活は充実していたと言えます。手厚い指導は、現場に入ってから受けられるので安心してください。配属1年目は、指導係の先輩が常にそばについてくれますから、仕事を覚えるまでの過程も心強いはずですよ。



機械オペレーション

コントロール室にあるモニターで機械稼働状況を把握し、ボタンによって操作。ボタンを押すときは指差し確認を必ず行って、安全操作を心がけます。



馬田
太郎

2017年4月入社
熊本県出身
知多工場 製鋼第2室